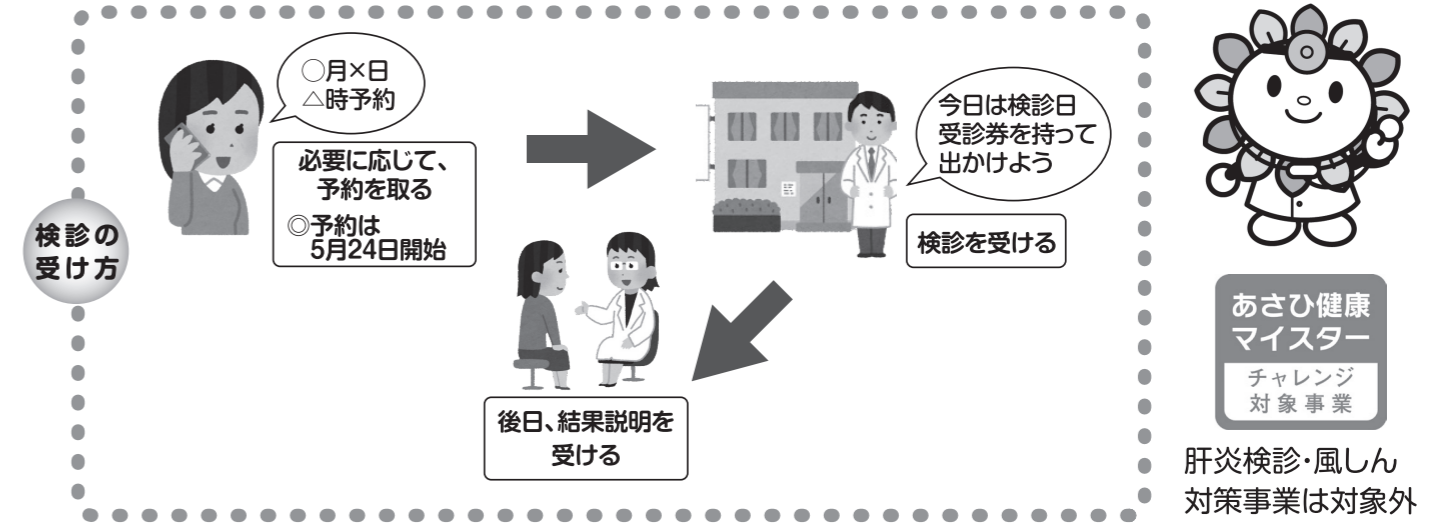


# 令和6年度 がん検診等のご案内

～あなたの健康を守るために、今年も必ず受けてください～

実施期間	がん検診を受けるときの注意点
<b>令和6年6月1日～ 10月31日</b> <small>【子宮頸がん、乳がん検診のみ】 令和6年6月1日～12月28日</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○予約開始：令和6年5月24日～希望の実施医療機関へ直接予約～</li> <li>○費用免除：生活保護世帯、市民税非課税世帯のかたは費用免除制度があり事前申請が必要。(詳細は下記参照)※3</li> <li>○精密検査が必要と判断されたかたは、必ず精密検査受診(保険診療)をお願いします。</li> </ul>



検診名	肺がん・結核	大腸がん	胃がん		子宮頸がん	HPV	乳がん※2	前立腺がん	肝炎		
	胸部X線	便潜血検査	X線	内視鏡※1	頸部細胞診・視診・内診	HPV検査	マンモグラフィ	血液検査 (PSA)	血液検査 (B・C型肝炎ウイルス)		
対象者 (対象の検診は受診券に印字あり)	★65歳以上のかたは胸部X線検査(結核検診)を年1回受けましょう。 <b>40歳以上 (昭和59年以前生まれ)</b>			50歳以上の隔年 (昭和49年以前生まれ) ★大正・昭和奇数年生まれ ★X線か内視鏡を選択	20歳以上の隔年女性 (平成16年以前生まれ) ★大正・昭和奇数年と平成偶数年生まれ ★40～59歳は毎年受診可能	30、34歳の女性 (平成2年、平成6年生まれ)	40歳以上の隔年女性 (昭和59年以前生まれ) ★大正・昭和奇数年生まれ	50歳以上の男性 (3年に1回) ★昭和49年以前の3年おきの生まれ	①40歳以上の5歳刻み※4	②41歳以上で過去に当該検診を受けたことがないかた	
申し込み方法	がん検診実施医療機関へ直接申し込み ※別紙実施医療機関一覧参照										
自己負担金※3	市国保加入または70歳以上	300円	200円	800円	1,800円	650円	1,000円	1,500円	800円	無料	400円
	その他	600円	400円	2,400円	3,400円	1,300円	1,000円	1,500円	800円	無料	800円

## 注意事項

※1 胃がん検診 (内視鏡について)	<ul style="list-style-type: none"> <li>①抗凝固薬・抗血小板薬等(ワーファリン、バイアスピリン等)を内服中のかた、妊娠中のかた消化性潰瘍などの胃疾患で受療中のかた(ピロリ菌除菌中のかたを含む)、胃全摘術後のかたは受診できません。</li> <li>②検査時に胃の組織検査やポリプ等の切除が必要になった場合、保険診療として別途費用がかかります。</li> <li>③対象の方であっても身体の危険が高いと医療機関が判断した場合、検査をお断り・中止することがあります。</li> </ul>
※2 乳がん検診について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・完全予約制です。同封の実施医療機関一覧、または無料クーポン券(該当者のみ)裏面をご覧ください。</li> <li>・授乳中のかた、形成手術を受けられたことのあるかた、V-Pシャントやペースメーカーを装着しているかたは、直接医療機関にご相談ください。</li> <li>・昭和58年4月2日から昭和59年4月1日生まれのかたは、無料クーポン検診の対象です。同封の「健康診査受診券」とは別に、無料クーポン券を送付(ピンク色の封書)しています。</li> </ul>
※3 自己負担金免除制度について (要事前申請)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活保護世帯、市民税非課税世帯のかたは、自己負担金免除制度を利用できます。</li> <li>・受診の1週間前までに、本人確認のできる書類(マイナンバー、健康保健証、運転免許証など)を持参のうえ、健康課で申請手続きをしてください。本人または同居の家族が手続きできない場合、委任状【自署または押印】が必要です。</li> <li>・非課税の決定は6月中旬以降になります。免除決定通知の提示がないと自己負担金は免除となりませんので、免除申請書がお手元に届きましたら医療機関への予約をお願いします。</li> </ul>
受診券を失くした時は	<ul style="list-style-type: none"> <li>①再発行できる窓口:保健福祉センター1階健康課 (新居町明才切57) 持ち物:本人確認ができる書類(マイナンバーカード、運転免許証、健康保険証等)</li> <li>②電子申請でも再発行可能(郵便でお届け) ※但しお手元に届くのが1週間から10日ほどかかります。</li> </ul>

## 風しんの追加的対策事業

～無料で受けられるのは令和7年3月末まで。お急ぎください～

- ・風しんまん延防止のため、昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性を対象に、全国の実施機関で、無料で抗体価検査を実施しています。「抗体価が十分でない」と判定された場合は、予防接種も無料で受けられます。
- ・職場の人間ドックや健康診査、市の特定健診と合わせて受検できます。まだ検査を受けていない場合は、早めに受診してください。
- ・受検には令和6年度用クーポン券が必要です(令和6年3月末に送付済み)。紛失の際は、健康課で再交付します。
- ・詳しくは、厚生労働省ホームページ [風しんの追加的対策](#) をご覧ください。

## ※4 肝炎検診 無料実施対象者

過去に当該検診を受けたことがないかた

40歳	昭和59年4月1日～昭和60年3月31日生
45歳	昭和54年4月1日～昭和55年3月31日生
50歳	昭和49年4月1日～昭和50年3月31日生
55歳	昭和44年4月1日～昭和45年3月31日生
60歳	昭和39年4月1日～昭和40年3月31日生

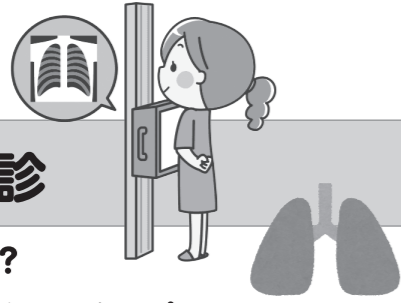
以降は、5歳刻み(上限なし)

【お問い合わせ先】

**尾張旭市健康課(尾張旭市保健福祉センター内)**  
**電話 0561-55-6800**

## 検診、知ってこ情報

### 肺がん検診



Q: 肺がんって?

A: 日本人のがん死因トップ。危険因子として、たばこの影響が指摘されていますが、最近は喫煙歴のない人も発症しています。

Q: 胸のレントゲン(肺がん検診)で、何がわかるの?

A: X線では、空気は黒く、骨や血管などは白く写るため、肺炎や腫瘍などがあると、白い影となって写し出されます。腫瘍がないかはもちろん、毎年定期的に受けることで、経年変化がないか確認することが大切です。

### 大腸がん検診



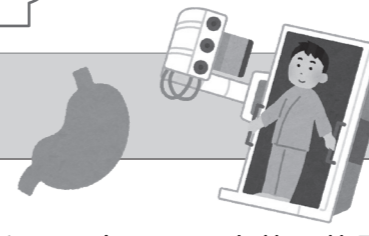
Q: 大腸がんって?

A: 近年、日本人の大腸がんは増加傾向にあります。早期には症状はありません。便秘と下痢を繰り返したり、血便でわかることもあります。

Q: 検診で、何を調べるの?

A: 便を専用の容器で採り、提出するだけで、便に血液が混じっていないかを調べられます。結果が要精密検査と判定された場合、検査の内容や必要性など、よく説明を受け、必ず詳しい検査を受けてください。

### 胃がん検診



Q: 胃がんって?

A: わが国のがんによる死亡原因の上位に位置しており罹患する人(かかる人)は50歳代から増加します。早期にはこれといった自覚症状はありません。

Q: X線検査による胃がん検診って、どんなことをするの?

A: 発泡剤で胃を膨らませ、造影剤(バリウム)を胃粘膜に付着させて、様々な方向から胃を撮影し、粘膜の凹凸や形状から胃の異常の有無を診断します。

Q: 内視鏡検査による胃がん検診って、どんなことをするの?

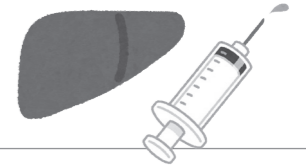
A: 細長い管(スコープ)を口または鼻から挿入し、胃粘膜を直接観察する方法です。



### B型・C型肝炎ウイルス検診

Q: ウイルス検査は、なぜ必要?

A: 肝炎ウイルスに感染していても、自覚症状がないことが多いため、検査を受けないと感染はわかりません。知らずに放っておくと、肝臓がんや肝硬変に進行して命を落とすこともあります。万一、感染が分かった場合には、定期的な肝臓の状態チェック、それに見合った健康管理ができれば、制限なく日常生活を送ることができます。



### 前立腺がん検診

Q: 検診で、どんなことがわかるの?

A: 血液中の前立腺に特異的なタンパク質の一種である「PSA」の値を測定します。年齢により基準値があり、数値が高くなればなるほど前立腺がんである確率が高くなっていきます。男性がかかりやすいがんのトップで、年々増加しています。



### 子宮頸がん検診(細胞診)

Q: 子宮頸がんって?

A: 20~30歳代の若い世代で急増中のがんです。早期に発見することで、将来の妊娠・出産が可能となります。

Q: 検診って、どんなことをするの?

A: 子宮頸部の細胞をブラシなどで軽くこすり細胞を採取して、がん細胞やがん化しやすい「異形成」状態の細胞がないか顕微鏡で調べます。細胞の採取は短時間で済みます。



### 乳がん検診

Q: 乳がんって?

A: 女性がかかりやすいがんのトップで、年々増加していますが、一方で、早期発見すれば、5年生存率は90%以上ともいわれています。早期発見のためには、定期的な乳がん検診と、普段から自分の乳房の状態を意識して生活する「ブレスト・アウェアネス」の生活習慣(※)が大切です。

(※)「ブレスト・アウェアネス」生活習慣の4つのポイント

- ①自分の乳房を見たり、触れたり、乳房の状態を知る。
- ②乳房の変化(しこりや皮膚の状態、分泌物など)に気をつける。
- ③乳房の変化に気づいたら、すぐに医療機関を受診する。
- ④40歳になったら、2年に1回乳がん検診を受ける。

Q: マンモグラフィってどんなことをするの?

A: 乳房を撮影板で圧迫して乳腺専用のX線撮影をします。圧迫によって痛みを感じることもありますが、2年に1回定期的に乳がん検診を受けることで、がんを早期に発見できる大切な検査です。

